



筑波大学 CEGLOC
日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催



第7回 日本語教育とICT活用を考える < 理念編 >

<理念編>では、各回さまざまな講師をお招きして、講師のICT活用に関する考え方をお話しいただきます。また、フロアとの意見交換を通して、理解を深めることを目指します。

吉川 達（立命館大学）

多読とICT ～ICTで多読の可能性は広がるか～



多読は学習者が自分の読みたい本を読んで、結果的に言語能力を向上させる読解教育のアプローチです。

昨今、生成AIの登場やメタバースの活用、機械翻訳の精度の向上などICTを取り巻く環境に大きな変化が起きています。日本語教育も無関係ではられません。アナログな活動である多読に、これらICTを活用することはできるのでしょうか。将来も外国語で読む必要性は残り続けるのでしょうか。多読を軸としてICTと読む教育の関係について考えたいと思います。

日時：2023年12月18日(月) 14時～16時

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー形式）

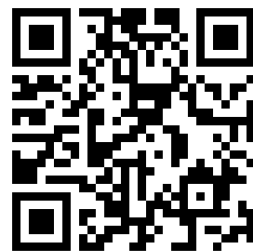
参加費：無料

参加申込：<https://forms.gle/8vypjpYoUjU7PQqbA>

参加者には開催2日前までにzoomのリンクをお送りいたします。
参加者多数の場合はお申し込みを制限する場合がございます。

お問い合わせ先：[jp-kyoten\(at\)un.tsukuba.ac.jp](mailto:jp-kyoten(at)un.tsukuba.ac.jp)

 [jp_kyoten](https://twitter.jp-kyoten)



<参加申込>



<拠点HP>



筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、
<理念編>：じっくり考える講演会、<ツール編>：すぐに使えるコンテンツワークショップ
を目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。